

# I 経済の活性化

## 3 観光の振興

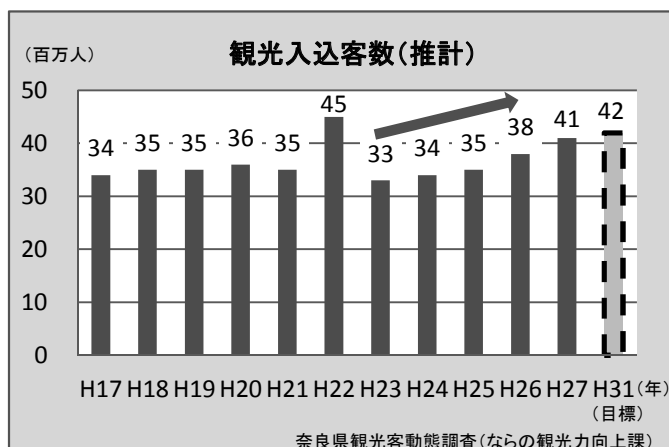
主担当部局(長)名  
観光局長 森田 康文

### 目指す姿

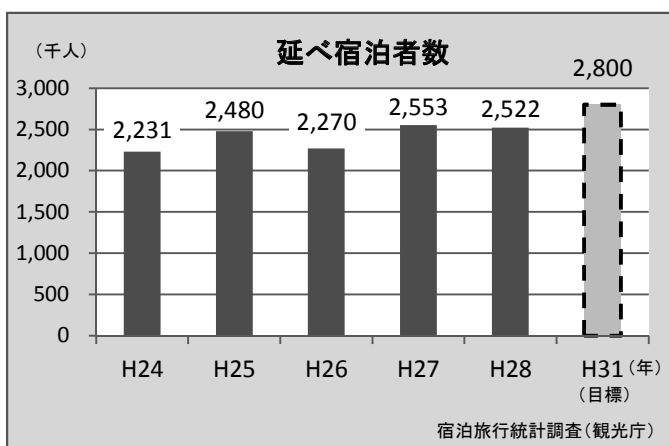
新しい魅力づくりを進め、ゆっくりじっくりと楽しめる観光県を目指します。

関係部局(長)名: 知事公室長 榎井 和也、地域振興部長 村田 崇、南部東部振興監 山本 尚、くらし創造部長 榎田 斉志、産業・雇用振興部長 中川 裕介、農林部長 福谷 健夫、県土マネジメント部長 山田 哲也、まちづくり推進局長 金剛 一智、教育長 吉田 育弘

### 1. 政策目標達成に向けた進捗状況

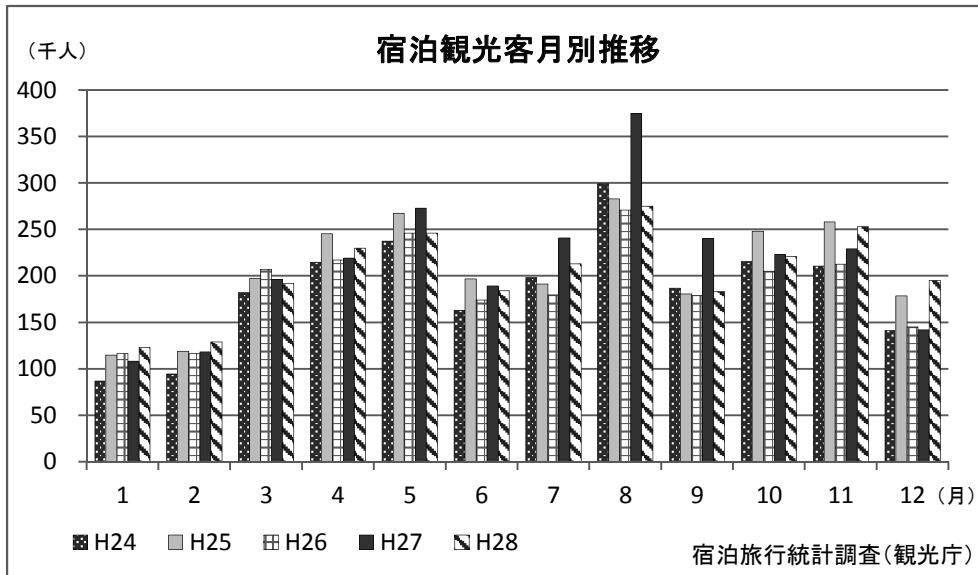


<b>目標</b>	平成31年までに、観光入込客数を4,200万人にします。(H26年:3,811万人)
<b>取組</b>	奈良県への観光客の誘致活動を行いました。
<b>成果</b>	首都圏観光キャンペーン、冬季重点誘客キャンペーン等の実施により、観光入込客数は平成24年以降増加し、目標に向かって順調に推移しています。

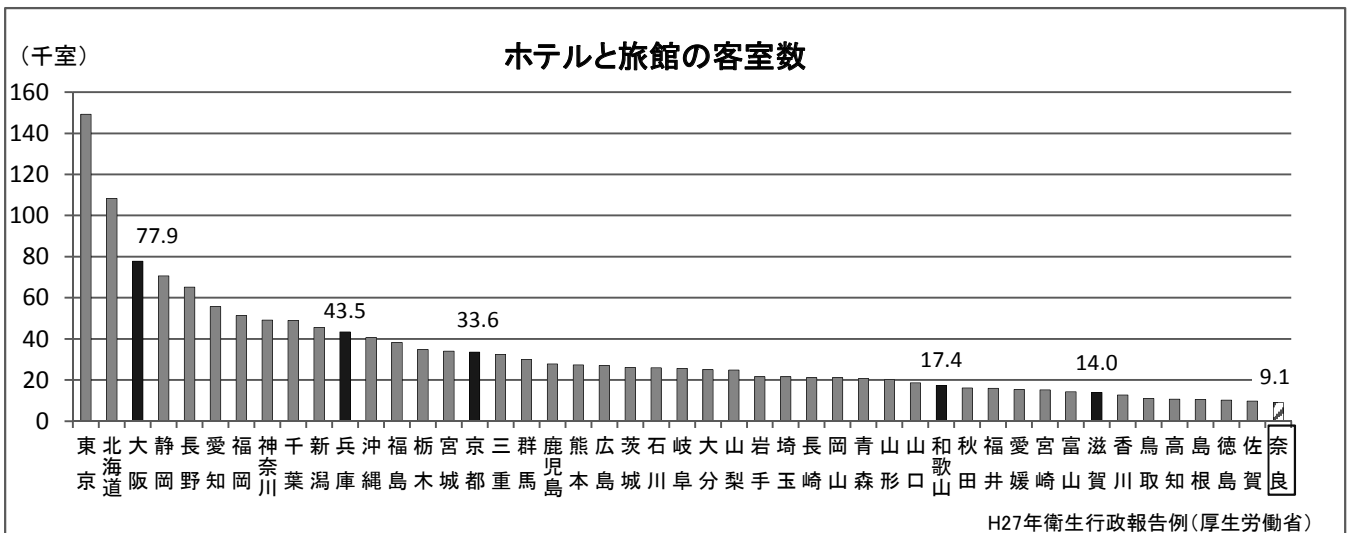


<b>目標</b>	平成31年までに、延べ宿泊者数を280万人にします。(H26年:227万人)
<b>取組</b>	奈良県への宿泊観光客の誘致活動を行いました。
<b>成果</b>	奈良県宿泊者限定ネットクーポンキャンペーンや、路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンを実施したものの、延べ宿泊者数は若干減少しました。

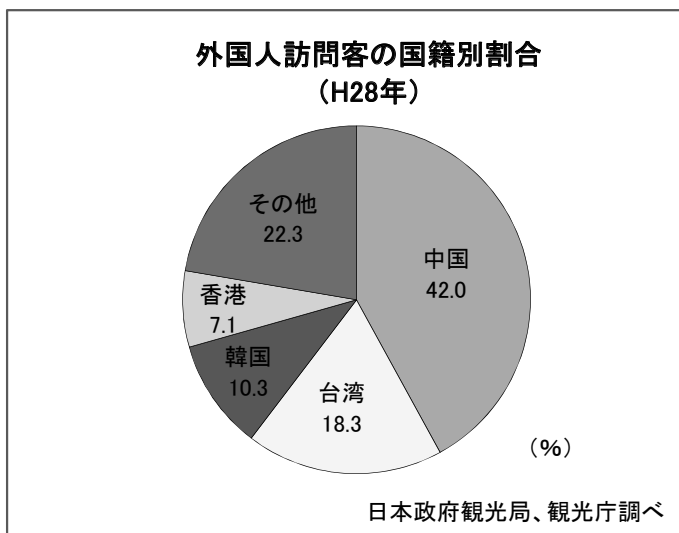
## 2. 現状分析



・12～2月、6・7月がオフシーズンになっており、宿泊観光客が低迷しています。  
 ・特に1、2月は8月の1/2以下にまで落ち込んでいます。(H28年1月:12.3万人、2月:12.9万人、8月:27.5万人)



宿泊施設の施設数・客室数はともに少なく、客室はホテル(3,675室)と旅館(5,376室)を合わせて9,051室で、全国最下位です。



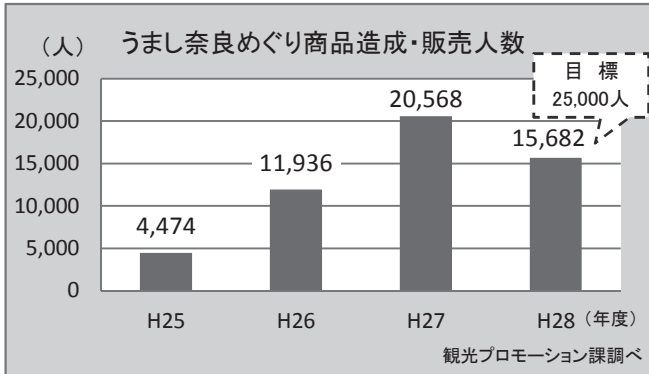
奈良県への外国人訪問客の国籍別割合は、中国(42.0%)、台湾(18.3%)、韓国(10.3%)、香港(7.1%)で全体の約78%を占めています。

### 3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進します。

主担当課(長)名 ならの観光力向上課長 中西 秀人

戦略目標 ①平成27年度から平成32年度までに、新規に客室数300室の増を目指します。  
②平成28年度までに、うまし奈良めぐり商品造成・販売人数を25,000人にします。(H26年度: 11,936人)



取組 国内プロモーション、海外プロモーション等の実施により、宿泊客の増加に取り組みました。(②)

成果 「奈良うまし冬めぐり」に取り組み、特別感のある旅行商品の造成、旅行会社等へのセールス活動、ホームページでの広報やパンフレットの配布等を展開し、平成25年度以降、販売人数は増加していましたが、平成28年度は減少し、目標達成には至りませんでした。(②)

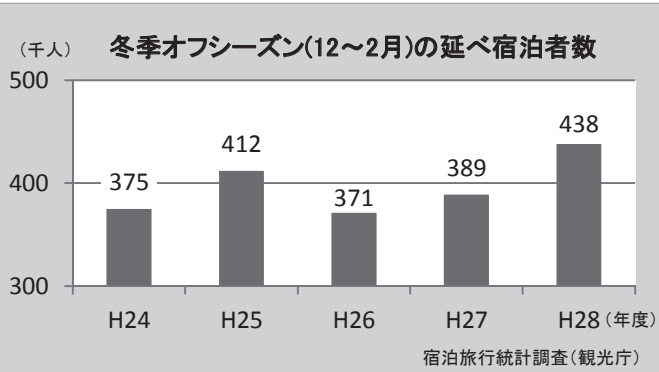
主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
宿泊産業の育成・支援(①)				
制度融資(宿泊関連)利用者数(人)	4	8	10	企業立地推進課
奈良の美味しい「食」づくり(食の魅力向上)(②)				
奈良フードフェスティバル来場者数(千人/日)	8.6	9.3	10.0	マーケティング課
魅力ある「奈良の土産物」の創出・発掘・発信(②)				
奈良のおみやげもの(お菓子)認定数(品)	—	18	18	産業振興総合センター
祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳の推進(②)				
秘宝・秘仏特別開帳実施社寺数(社寺)	61	61	61	観光プロモーション課
中南和の魅力振興(②)				
「やまと花ごよみ」来場者数(千人)	127	144	200	公園緑地課
まちをきれいにする取組の推進(②)				
「地域の河川サポート事業(彩り花つつみプログラム)」の参加団体数(団体)	19	24	23	河川課
河川美化愛護団体支援事業による河川清掃実施団体数(団体)	101	104	117	河川課
自転車を活用した取組の推進(②)				
広域的な自転車利用ネットワークにおける案内誘導及び注意喚起サイン整備率(%)	78	83	83	道路環境課
自転車の屋内保管や自転車搬送サービス等が可能な「サイクリストにやさしい宿」認定数(件)[累計]	58	58	58	道路環境課
秋季休日における自転車周遊者数(台/日)(計測箇所:10カ所)	5,715	5,089	5,486	道路環境課

#### これまでの成果

- ・大宮通り新ホテル・交流拠点事業のホテル事業について、マリオット・インターナショナルの最高級ホテルブランド「JWマリオット」の進出が平成28年3月に決定し、平成28年8月に施設設計に着手しました。(①)
- ・奈良盆地周遊型ウォークルートのルートを設定し、葛城エリア、山辺の道エリアにおいて案内サイン68基を設置しました。(②)

戦略目標

①平成31年までに、オフシーズン(12月～2月、6月・7月)延べ宿泊者数を105万人にします。  
(H26年:73万人)

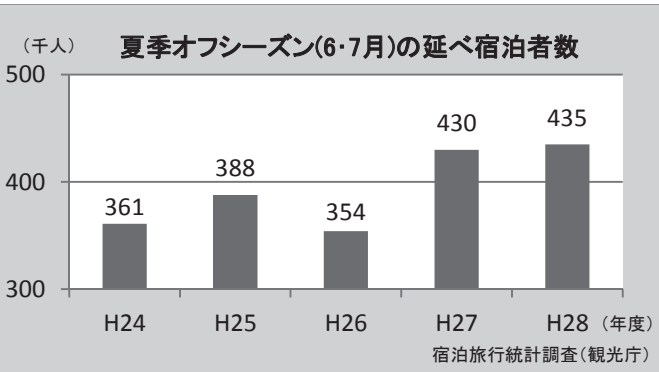


取組

冬季重点誘客キャンペーン、イベントの実施等、オフシーズンの宿泊観光客の誘致に取り組みました。(①)

成果

冬季重点誘客キャンペーン(ネットクーポンキャンペーン、大立山まつり、若草山焼き、なら瑠璃絵等)を実施したことにより、平成28年度の冬季オフシーズン(12～2月)の延べ宿泊者数は43万8千人と、前年度比12.6%増となりました。



取組

夏季重点誘客キャンペーン、イベントの実施等、オフシーズンの宿泊観光客の誘致に取り組みました。(①)

成果

夏季重点誘客キャンペーン、イベント(ムジークフェストなら、なら燈花会等)を実施したことにより、平成28年度の夏季オフシーズン(6・7月)の延べ宿泊者数は43万5千人と、前年度比1.2%増となりました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
旅行商品の造成・セールス強化(①)				
県が造成した旅行商品企画の販売数(人)	5,970	4,400	7,094	観光プロモーション課
オフシーズンにおける誘客促進(①)				
社寺等と連携した旅行商品の販売数(人)	11,936	20,568	15,682	観光プロモーション課
奈良だからこぞできる音楽祭の開催(①)				
「ムジークフェストなら」来場者数(千人)	83	107	112	文化振興課
スポーツツーリズムの推進(①)				
全国高校ラグビー出場校の県内での延べ宿泊者数(人)	5,074	7,421	5,880	観光プロモーション課
奈良マラソン外国人エントリー数(人)	235	413	625	スポーツ振興課

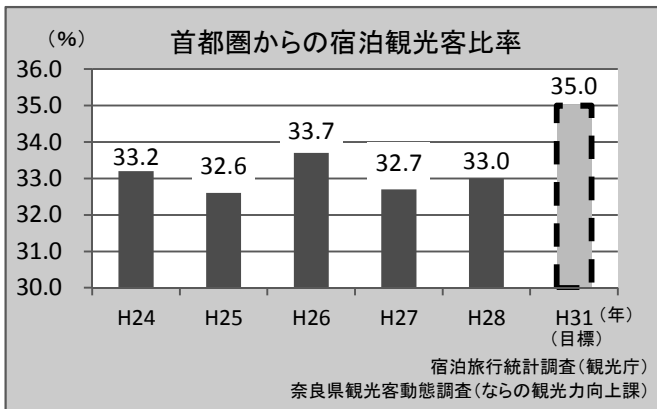
これまでの成果

- ・平成28年度の冬季オフシーズンにインターネットで宿泊予約するお客様を対象にネットクーポンキャンペーンを実施し、延べ宿泊者数は43万8千人と、対前年度比12.6%増となりました。(①)
- ・オフシーズン対策として首都圏及び九州圏等への冬季誘客キャンペーン「奈良うまし冬めぐり」「奈良うまし夏めぐり」の広報展開に取り組み、県内全域への観光客1万6千人を誘致しました。また、奈良県ビクターズビューローと連携し、春日大社第六十次式年造替奉祝行事に関連する行事に参列できるなどの商品を造成しました。(①)

戦略3 ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、観光客及びコンベンションの誘致を推進します。

主担当課(長)名 観光プロモーション課長 山中 淳史

戦略目標 ①平成31年までに、首都圏からの宿泊者の比率を35%にします。(H26年:33.7%)



取組 首都圏プロジェクトの実施により、首都圏からの宿泊観光客の誘致に取り組みました。(①)

成果 首都圏での情報発信、奈良県観光キャンペーンの展開、奈良県の観光情報発信の拠点である奈良まほろば館での誘致活動等を実施したことにより、首都圏からの宿泊者は若干増加しました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
<b>首都圏等からの誘客の促進(①)</b>				
奈良まほろば館の入館者数(千人)	299 ↗	278 ↘	276 ↘	観光プロモーション課
奈良に関する情報掲載出版物数(千部)	15,467 ↗	1,505 ↘	1,535 ↗	文化資源活用課・ならの観光力向上課
<b>中南和・東部地域の観光情報発信機能強化(①)</b>				
JAならけんまほろばキッチン内観光案内所の利用客数(人)	43,320 ↘	37,296 ↘	42,163 ↗	ならの観光力向上課
<b>県内の魅力あるルートを紹介する「歩く・なら」の推進(①)</b>				
「歩く・なら」HPのアクセス件数(千件)	874 ↗	1,050 ↗	1,138 ↗	ならの観光力向上課
<b>記紀・万葉プロジェクトの推進(①)</b>				
民間団体による記紀・万葉関連イベントへの支援件数(件)	20 ↗	26 ↗	29 ↗	文化資源活用課
<b>コンベンションの誘致(①)</b>				
コンベンション誘致件数(件)	258 ↘	240 ↘	260 ↗	観光プロモーション課

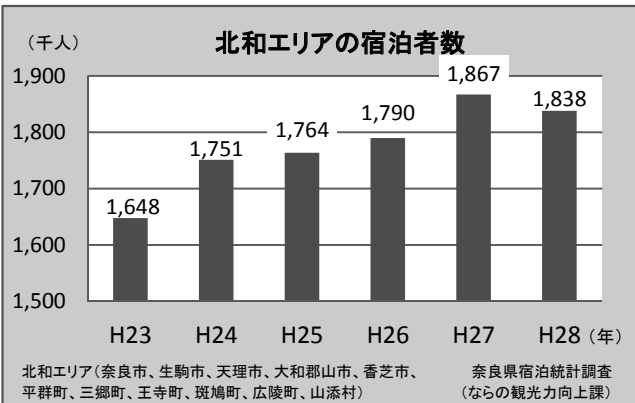
### これまでの成果

- ・「祈りの回廊 秋冬版」(H28年9月～H29年3月)及び「祈りの回廊 春夏版」(H29年3月～9月)計31万部を作成し、市町村や観光協会等に配布し、秘宝・秘仏の特別開帳等の社寺情報を発信しました。(①)
- ・「なら記紀・万葉」「巡る奈良」「歩く・なら」等の観光情報をインターネットで発信し、平成21年3月のHP開設以来、アクセス数が増加しています。(H27年度:105万件→H28年度:113万8千件)(①)
- ・首都圏での「桜とともに生きる～吉野・生命と再生の聖地～」シンポジウムや県内11会場で開催した「日本書紀を語る講演会」等、「記紀・万葉プロジェクト」事業として様々なイベント等を開催し、合計13万人の参加がありました。(①)

戦略4 地域資源を活用した観光基盤の整備とにぎわいづくりを推進します。

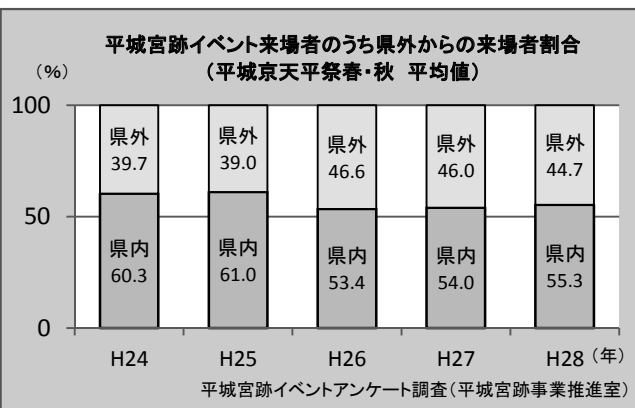
主担当課(長)名 奈良公園室長 上平 盛王

戦略目標 ①平成31年までに、奈良市への観光入込客数を1,580万人にします。(H26年:1,414万人)



取組 奈良公園の整備を進めるとともに、オフシーズンを中心に宿泊客の誘客を図りました。(①)

成果 観光オフシーズンのキャンペーン、イベントを実施したものの、前年の奈良県宿泊者限定キャッシュバックキャンペーンや、全国高等学校総合体育大会が終了した影響等により、北和エリアの宿泊観光客は若干減少しました。



取組 平城宮跡でのイベント開催によるにぎわいづくりに取り組みました。(①)

成果 平城宮跡イベントの県外への広報周知に取り組んだ結果、来場者のうち県外から来場する人の割合は増加傾向にあります。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
大宮通りプロジェクト(①)				
若草山焼き事業の観光客数(千人)	190	150	180	奈良公園室
「なら瑠璃絵」来場者数(千人)	426	412	386	奈良公園室
「なら燈花会」来場者数(千人)	904	906	907	奈良公園室
社寺等と連携した旅行商品の販売数(人)	11,936	20,568	19,487	観光プロモーション課
「ぐるっとバス」(奈良公園ルート)のGW期間(休日)の平均利用者数(人/日)	1,362	1,369	1,347	奈良公園室
平城宮跡内で開催されたイベントの来場者数(千人)	146	137	241	平城宮跡事業推進室

これまでの成果

- ・奈良公園周辺への外国人観光客の誘客と滞在時間増加による消費促進に繋げるため、総合特区エリア内に限り、有償で通訳案内ができる中国語・韓国語の特区通訳案内士を育成しました。(H27年度:20人→H28年度:22人)(①)
- ・馬見丘陵公園を平成24年度に全面開園し、県民と協働による花の公園づくりを推進するとともに、花を活かしたチューリップフェア(4月8日～16日、来場者数:8万5千人)や花菖蒲まつり(6月10日～12日、来場者数:2万3千人)を開催するなど利活用を図りました。(①)
- ・飛鳥宮跡で「飛鳥 光の回廊」(8月27日～28日)等のイベントを実施し、約3,700人の参加がありました。(①)

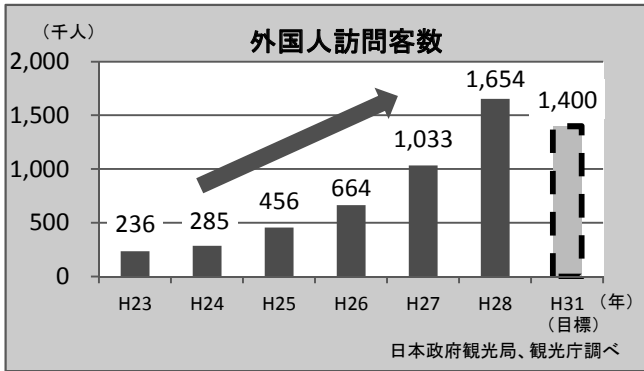


戦略5 海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境の充実を図ります。

主担当課(長)名 観光プロモーション課長 山中 淳史

戦略目標

- ①平成31年までに、外国人訪問客数を140万人にします。(H26年:66.4万人)
- ②平成31年までに、外国人延べ宿泊者数を33万人にします(H26年:14.5万人)

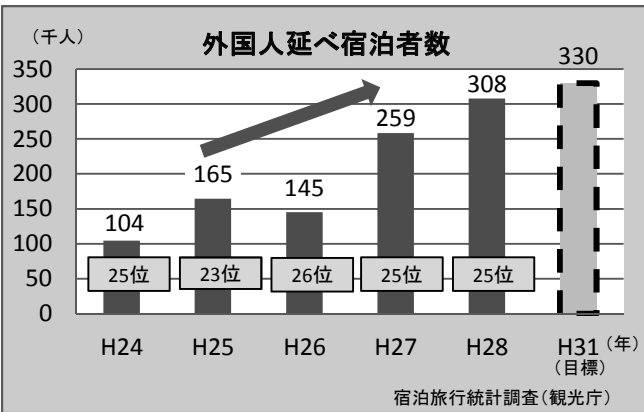


取組

外国人訪問客の誘致活動を行いました。(①)

成果

海外旅行プロモーター・旅行商品コーディネーターによる情報発信・セールス活動、富裕層旅行を取り扱うバイヤーとの商談会出展、ファムトリップの実施、受け入れ環境の整備等により、平成28年の外国人訪問客数は、165万4千人と大幅に増加し、平成31年目標の140万人を達成しました。



取組

外国人宿泊観光客の誘致活動に取り組みました。(②)

成果

海外旅行会社・メディア等へのニーズに合った観光情報の発信や、ランドオペレーターを設置した滞在型・県内周遊型の旅行商品の重点的なセールス活動等により、外国人延べ宿泊者数は、平成27年の25万9千人(全国25位)から平成28年の30万8千人(全国25位)と、2年連続で増加しました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
友好提携先等と連携した国際交流の促進(①)				
東アジア地方政府会合参加地方政府数(地方政府)	66	68	69	国際課
外国人留学生の支援・連携(①)				
「まほろばパス」(奈良県内社寺、文化・観光施設入館無料パスポート)発行枚数(枚)	875	891	935	外国人支援センター

これまでの成果

- ・外国人観光客に向けた情報発信、おもてなし及び観光客同士の交流を促進するための拠点施設「奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)」が、平成28年12月より宿泊運営を開始し、平成29年3月にグランドオープンしました。(①,②)
- ・観光客の接遇に携わる観光事業者(宿泊、交通、飲食等)等を対象に、おもてなし・サービス向上にかかる研修を実施しました。(②)

## 4. 平成30年度に向けた課題の明確化

### ＜政策目標達成に向けた進捗状況＞

・首都圏観光キャンペーン、冬季重点誘客キャンペーン等の実施により、観光入込客数は平成24年以降増加しています。  
 ・奈良県宿泊者限定ネットクーポンキャンペーンや、路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンを実施したものの、延べ宿泊者数は若干減少しました。

### ＜戦略目標達成に向けた進捗状況＞

・冬季重点誘客キャンペーンを実施したことにより、平成28年度の冬季オフシーズンの延べ宿泊者数は43万8千人と、前年度比12.6%増となりました。  
 ・首都圏での情報発信、奈良県観光キャンペーンの展開、奈良県の観光情報発信の拠点である奈良まほろば館での誘致活動等を実施したことにより、首都圏からの宿泊者は若干増加しました。  
 ・海外旅行プロモーター・旅行商品コーディネーターによる情報発信・セールス活動、富裕層旅行を取り扱うバイヤーとの商談会出展、ファムトリップの実施、受け入れ環境の整備等により、平成28年の外国人訪問客数は、165万4千人と大幅に増加し、平成31年目標の140万人を達成しました。

### ＜奈良県の持っている強み＞

1 3つの世界遺産、国宝・重要文化財指定件数全国第3位。中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す遺産を含めた文化財と豊富な歴史的資源  
 2 特に平城宮跡から奈良公園エリアは文化的・歴史的資産が集積し、多くの観光客が来訪  
 3 ミシュラングリーンガイドに観光地「奈良」の三つ星を始め60カ所に星がつくなど、奈良の観光地としての魅力が存在  
 4 ミシュランレッドガイドにおいて16軒に星がつくなど、食の観光素材が充実  
 5 四季折々の変化が楽しめる豊かな自然景観  
 6 奈良に事務所があるUNWTOアジア太平洋センター関連の国際会議等の誘致  
 7 東アジア地方政府会合を契機とした東アジア諸国との深いつながり  
 8 欧米からの観光客は、歴史・文化のある奈良に高い関心  
 9 中国陝西省・韓国忠清南道・スイスベルン州・ベトナムフートー省との友好提携等  
 10 「奈良県猿沢イン」のグランドオープン

### ＜奈良県の抱えている弱み＞

11 宿泊施設の施設数・客室数ともに少なく、客室数は全国で最下位  
 12 12～2月、6・7月がオフシーズンで宿泊客が少ない  
 13 県内に常時賑わいを創出している場所が不足  
 14 奈良らしい土産物が少ない  
 15 観光トップシーズンを中心に、奈良公園等観光地周辺の道路は渋滞が慢性化  
 16 観光施設等の案内表示、バリアフリー対応の困難さ  
 17 大阪、京都への交通アクセスがよいため、通過型（日帰り）観光が中心  
 18 国内外に、奈良の奥深い魅力、歴史的背景、文化等が充分伝わっていない  
 19 県内観光における自転車の利用は低水準  
 20 中南和地域へのアクセスが悪い  
 21 観光客の満足度が低いのは、「食」「宿泊」「土産物」  
 22 宿泊施設の質の差が大きい

### ＜奈良県への追い風＞

a 社寺の秘宝・秘仏特別開帳への関心の高まり  
 b 「歴女」ブーム等、歴史に関心のある消費者層の拡大  
 c 国の経済政策による景気回復傾向  
 d LCCの普及、ビザ発給要件の緩和並びに円安による外国人観光客の増加傾向  
 e 東南アジアからの訪日観光客が急増  
 f 市民参加型マラソン等スポーツイベントの人気の高まり  
 g 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催  
 h ホテル業界での奈良への進出意欲の高まり

### ＜奈良県への向かい風＞

i 奈良公園の観光振興に関連して国の規制が多く存在  
 j 国内外の誘致競争の激化  
 k 少子化による児童、生徒数の減少

### ＜強みで追い風を活かす課題＞

〔重要課題〕平城宮跡及び県内各地におけるにぎわいの創出や滞在型周遊観光の促進(1,2,3,5,6,a,b,c,d,e,f)  
 〔重要課題〕大宮通りや周辺交通環境整備(2,3,c,d)  
 〔重要課題〕首都圏や海外からの誘客(1,2,3,5,7,8,9,10,a,c,d,e)  
 ・奈良の「食」の魅力向上に向けた効果的・継続的な取組の推進(4,c,e,g)  
 ・歴史展示政策の推進と史跡・名勝飛鳥京跡苑池の整備(1,3,5,6,9,a,b)  
 ・奈良の魅力の収集と効果的な情報発信(1,2,3,6,7,a,b)  
 ・交通環境の充実を目指した取組の推進(2,5,a,c)  
 ・スポーツイベントを活用した誘客の促進(2,5,f,g)  
 ・外国人観光客の交流拠点「奈良県猿沢イン」の活用(10,d,e,g)  
 ・旅行商品の造成・セールスの強化(1,2,5,8,c,d,e)

### ＜強みで向かい風を克服する課題＞

〔重要課題〕奈良公園基本戦略に基づく施策の推進(1,2,3,i)  
 ・友好提携を活用した中国、韓国との観光交流の促進(9,j)  
 ・UNWTOアジア太平洋センターと連携した国際会議の誘致(7,j)

### ＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞

〔重要課題〕宿泊産業の育成・支援(11,12,13,14,20,a,b,f,g)  
 〔重要課題〕大宮通り新ホテル・交流拠点の整備(11,12,13,17,a,b,c,d,e,g)  
 〔重要課題〕中南和地域への宿泊観光客の誘致(11,12,16,20,a,b,c,f,g)  
 ・奈良県交通基本戦略に基づく施策の推進(15,16,19,a,b,c)  
 ・魅力ある県産品・土産物の開発と効果的なPRの実施(14,21,a,c,d)  
 ・外国人観光客が周遊しやすい環境の整備(11,16,18,d,e)  
 ・オフシーズン対策の推進(イベントの活性化)(12,13,a,b,c,e,g)  
 ・宿泊施設の誘致に向けた取組の強化(11,h)  
 ・案内力・説明力の向上(16,18,a,b,d,e,g)

### ＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞

・修学旅行の誘致促進(11,14,17,k)  
 〔重要課題〕外国人観光客が滞在しやすい環境の整備(13,16,19,i,j)



## 5. 平成27年度の評価を踏まえ、平成29年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
宿泊産業の育成・支援 (戦略1)	取り逃がしている観光客を奈良に「泊まる」ようにするため、「奈良の観光力アップ推進協議会」を設置して、観光産業全体のサービス改善と宿泊につながる旅行商品の造成について研究し、ニーズにあった施策を実施することで、観光客の満足度の向上を図ることとしました。

## 6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
平城宮跡及び県内各地におけるにぎわいの創出や滞在型周遊観光の促進(戦略2,4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平城宮跡での春・夏・秋それぞれに特色あるイベントを実施するとともに、オフシーズン等に民間主体の新たなイベントを支援し、にぎわいを創出します。</li> <li>・「巡る奈良」の一環として、秘宝・秘仏特別開帳をはじめとする「祈りの回廊」事業の充実と県内各地の持続的な観光振興に向けた支援を実施します。</li> </ul>
大宮通りや周辺の交通環境整備(戦略4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の利用を促進するとともに、拠点駐車場と「ぐるっとバス」の連携による駐車場対策や、奈良公園周辺の通過交通削減対策等を実施します。</li> <li>・奈良公園、平城宮跡等の観光地や駅等の拠点を結ぶ「ぐるっとバス」の運行等により周遊環境を充実させます。</li> </ul>
首都圏や海外からの誘客(戦略3,5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県観光キャンペーンを実施します。</li> <li>・旅行商品説明会・商談会を実施します。</li> <li>・主要駅でのデジタルサイネージを展開します。</li> <li>・首都圏百貨店で観光物産展を開催します。</li> <li>・奈良まほろば館で様々なプロモーション活動を行います。</li> </ul>

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
宿泊産業の育成・支援(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設のもてなし力を向上させるために、モデル事業を実施します。</li> <li>・冬季の誘客キャンペーン展開を強化します。</li> <li>・特別感のある旅行商品を造成します。</li> <li>・旅行エージェント(営業、窓口販売、企画担当)の奈良へのアテンドを行い、商品造成・メディア露出を支援します。</li> <li>・年金ツアーの誘致や国内コンベンションの誘致強化により、団体宿泊客の誘致を促進します。</li> </ul>
大宮通り新ホテル・交流拠点の整備(戦略1)	ホテルを核とする賑わいと交流の拠点整備に向け、コンベンション施設等の整備を推進します。
中南和地域への宿泊観光客の誘致(戦略1)	地域の特長を活かした周遊型旅行商品を開発し、PRします。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
奈良公園基本戦略に基づく施策の推進(戦略4)	吉城園周辺地区や高畑町裁判所跡地の保存管理・活用等の整備のほか、奈良公園の魅力を活かした誘客イベントの企画・実施等の施策を推進します。

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
外国人観光客が滞在しやすい環境の整備(戦略5)	Wi-Fi環境の整備、多言語対応・多言語表示の充実、奈良の奥深い魅力を発信できる通訳ガイドの育成を推進します。